

### 前号の答え合わせ



菊丸　　叙叙



ごまみそ　叙叙



菊丸



ごまみそ

皆さんわかりましたか??

### 昨年生まれた牛たちを詳しく紹介します！

#### シロ口

4月27日の早朝に部員に見守られながら生まれたブラウンスイス種のシロ口ちゃん。生まれた当初は体が真っ白で、母牛の名前が「クロ口」だったことから「シロ口」という名前になりました。今はお母さん似の濃い茶色の体になりました!おっとりとした性格の女の子で、お散歩に連れていくととても楽しそうに大はしゃぎするお転婆な一面もあります!モフモフの白い毛が生えた耳がとても可愛いです!母牛の「クロ口」が別の牧場にお引越ししたので本校にいるブラウンスイス種はシロ口ちゃんのみです。



#### ビビンバ

7月10日に生まれたジャージー種のビビンバちゃん。生まれた当初は綺麗な茶色一色の体をしていましたが、成長と共に母牛の「ジャジャ」と同じようにお顔が黒くなりました!ビビンバちゃんは人が大好きで、人を見つけると近寄ってくれる人懐っこい子です。部員からは「ビビちゃん」という愛称でも呼ばれています。ジャージー



種ということもあり、体は小柄ですが気が強い一面を持っているので喧嘩では年上のシロ口ちゃんにも負けません!「ジャジャ」に似た頭の癖つ毛も親子の血筋を感じるチャームポイントの一つです。



#### カンロ



8月24日に生まれたホルスタイン種のカンロちゃんです。頭の白い模様が特徴的な女の子で、母牛の「ハッカ」とよく似た目をしています。カンロちゃんもいすれ他のホルスタイン種の子と同じように共進会に出場を予定していて、良い体型をしているので部員と先生から共進会での活躍が期待されています! 同居中の「紅八」と仲良くお昼寝している姿がよく見られます。



#### 紅八(くは)

8月30日に生まれた黒毛和種の紅八くんです。受精卵移植という技術を用いて無角和種の「もみじ」から生まれて来たため「もみじ」との血縁関係はありません。

紅八くんは和牛甲子園という大会に出場予定です。紅八くんは放牧場に連れて行くと全速力で走り回るパワフルでエネルギーの男の子です。

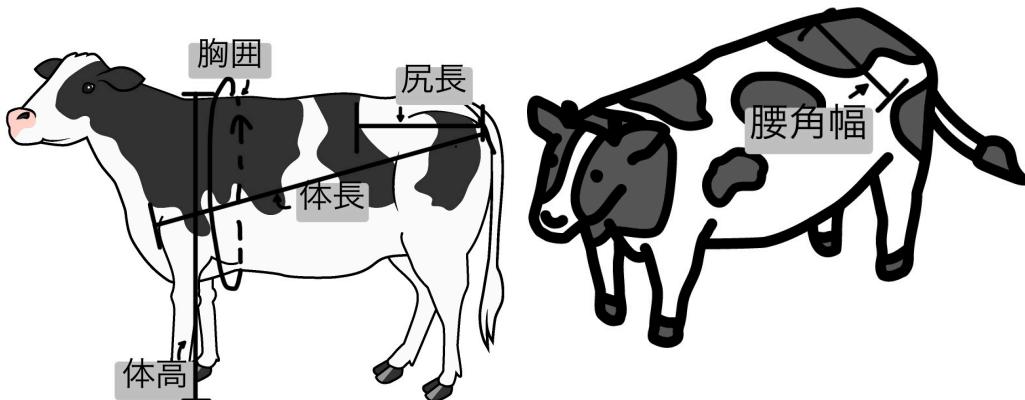
同居している「カンロ」がお散歩に出かけると寂しくて鳴いてしまう寂しがり屋な一面もあります。おっとりとした顔がとても可愛いです!

カンロ（左）と紅八（右）

## 酪農部が月に1回行っている体格測定について紹介します🐮

### 体格測定について🐮

体格測定とは人で言う身体測定のことです。牛が順調に成長しているか確認することができます。この体格測定のデータをもとに給与している餌が足りているのか判断し、飼料設計に役立てているのです。そのため、体重、体高、体長、胸囲、腰角幅（ようかくはば）、尻長（きゅうちょう）の7項目を部員全員で協力して毎月行っています。



体重は牛衡機（ぎゅうこうき）で量ります。大きな牛が量れるように大きいです。現在中農にいる牛で100kg未満の子はもういなくなってしまいました…

最初に100の位を合わせ次に下二桁を合わせていきます。数字が書いてある棒が、体重があってないと斜めに、体重が合うと水平になります。



↑牛衡機。ここに牛を誘導します。



↑下の棒で1~100kg、  
上の棒で百単位を計測できます。

体高と体長は体尺計（たいしゃくけい）、胸囲は体重推定尺（たいじゅうすいていしゃく）、腰角幅と尻長はキャリパーを使います。平らな場所に真っ直ぐ立たせて、正確に測れるようにします。また、複数人で測り間違いがないようにしています。

#### 体尺計→

体高は牛が立っている状態での地面から肩の高さで測ります。ここで体尺計が斜めっていると正確に測れなくなってしまいます。

体長は肩から尾のつけねあたりの一番飛び出ている部分までです。

体尺計は写真のように横棒が2本ついており、一本で人間の身長のように計測したり、2本で体を挟んで、その幅を計測することもできます。



#### ←体重推定尺

胸囲は前足のつけねあたりから胸の周りの長さです。キュッと締めたときと緩めたときの平均が胸囲になります。

名前の通り、胸囲からおおよその体重を測定することができます。



#### キャリパー→

腰角幅は左右の腰の一番飛び出している部分（腰角）の間の長さです。

尻長は腰の一番飛び出している部分（腰角）から尾のつけ根あたりの一番飛び出している部分（尻）までの間の長さです。

計測したい部位をはさみのように挟んで計測できるので、牛の腰角の間のように直線で計測することができない部位も簡単に計測することができます。



牛たちの体調管理は、このように毎日の管理だけではありません！牛たちの体調や成長の変化にいち早く気が付けるように、これからも牛たちと接していきます！